

団体名	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター		
事業名	令和3年度 環境意識啓発事業 (エコカーフェア大展示試乗会)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	3,113,550円
		うち助成金額	2,850,000円



○ 事業目的

自家用車依存の高い山形県でCO²排出量の少ないエコカーを県民に周知してクリーン環境に寄与するとともに、ペダル踏み間違い等による重大交通事故を防止するための先進安全機能搭載のエコカーへの乗り換えを推進し、交通事故撲滅を目的とします。

○ 実施内容

例年山形市ビッグウイングで開催している「エコカーフェア」がコロナ禍により中止となりました。

しかし、地球温暖化防止、交通事故防止はコロナ禍においても喫緊の課題でありエコカー・サポカーの普及推進は必要不可欠であることから、県民に対する広報を継続強化するため県内民放4局のテレビ局を活用し、より重点的な広報に努めました。

○ 事業の成果

県内民放4局による240回余りに及ぶ放送により、「安心・安全、より環境にやさしいクルマ車社会を目指して」を合言葉に、「自分自身は基より、家族のためを思い、安心・安全なサポカーに乗り換えよう」とのアナウンスにより、意識啓発に努めました。このことは、結果的に持続可能なクルマ社会へとつながること、気づききっかけづくりになったことと思います。さらには、昨今、自動車販売業界も半導体不足等により納期遅れがあるため、まずは販売店に訪ねてみよう・聞いてみようとの促しにもつながったことと思い、改めて、県民のクルマに対する関心度の高さを感じる結果となりました。

○ 今後の展望

本県は公共交通機関の不便性もあり、県民の足として車への依存度が高いことから、本年もテレビ中心の広報となりましたが、アフターコロナでは「エコカーフェア」で実際に車に乗っていただき安全性を肌で感じていただき高齢者のいる家庭や家族等に先進安全機能搭載エコカーの普及がさらに高まるよう事業を推進し、よりクリーンな環境・交通事故防止に努力して参ります。

